

熊本県鉱工業動向(平成29年10月分)

概況

	前月比の動き	参 考	
		九州(速報)	全国(速報)
生産	低下	低下	上昇
出荷	低下	低下	低下
在庫	上昇	上昇	上昇

業種別の主な動き

	主な上昇・低下業種(及び主な品目)	参 考	
		九州(速報)	全国(速報)
生産	上昇 輸送機械工業(※) 化学工業(※)	はん用・生産用・業務用機械工業 (フラットパネル・ディスプレイ製造装置等)	電気機械工業 (半導体・IC測定器等)
	低下 電子部品・デバイス工業(集積回路) はん用・生産用機械工業(特殊産業機械)	輸送機械工業 (普通乗用車等)	化学工業(除.医薬品) (合成洗剤等)
出荷	上昇 輸送機械工業(※) プラスチック製品工業(プラスチックフィルム)	はん用・生産用・業務用機械工業 (フラットパネル・ディスプレイ製造装置等)	輸送機械工業 (駆動伝導・操縦装置部品等)
	低下 電子部品・デバイス工業(集積回路) 電気機械工業(※)	輸送機械工業 (普通乗用車等)	石油・石炭製品工業 (軽油等)
在庫	上昇 金属製品工業(建築用金属製品) 化学工業(※)	輸送機械工業 (普通乗用車等)	鉄鋼業 (普通鋼鋼帯等)
	低下 ※(※) 繊維工業(※)	はん用・生産用・業務用機械工業 (液圧プレス等)	はん用・生産用・業務用機械工業 (建設用クレーン等)

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

総括(指数値:平成22年=100)

[熊本県]

生産指数は137.6で、前月比▲5.5%となり、2ヶ月ぶりの低下であった。16業種中7業種が上昇、9業種が低下であった。

出荷指数は124.0で、前月比▲1.7%となり、4ヶ月連続の低下であった。16業種中8業種が上昇、8業種が低下であった。

在庫指数は95.5で、前月比+8.0%となり、2ヶ月ぶりの上昇であった。15業種中12業種が上昇、3業種が低下であった。

(参考)

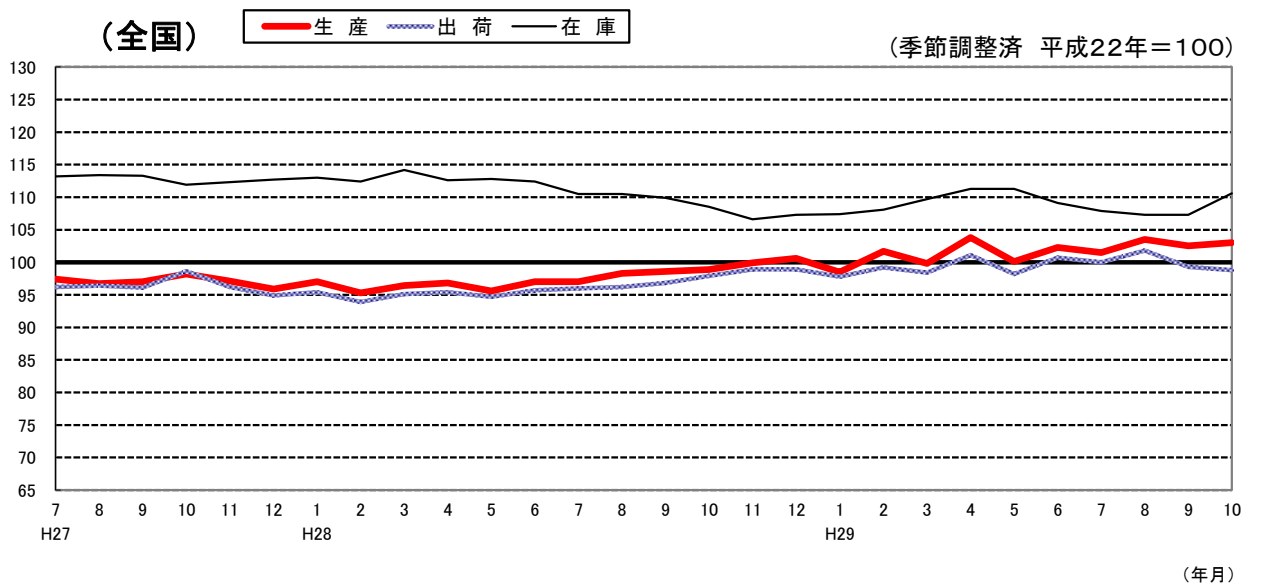
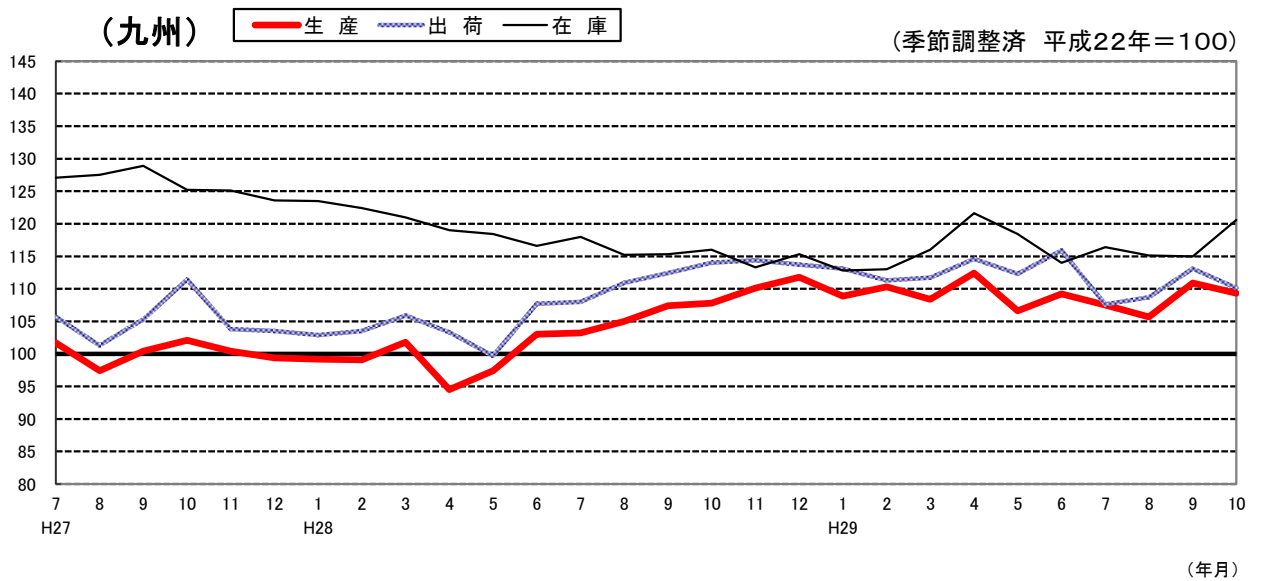
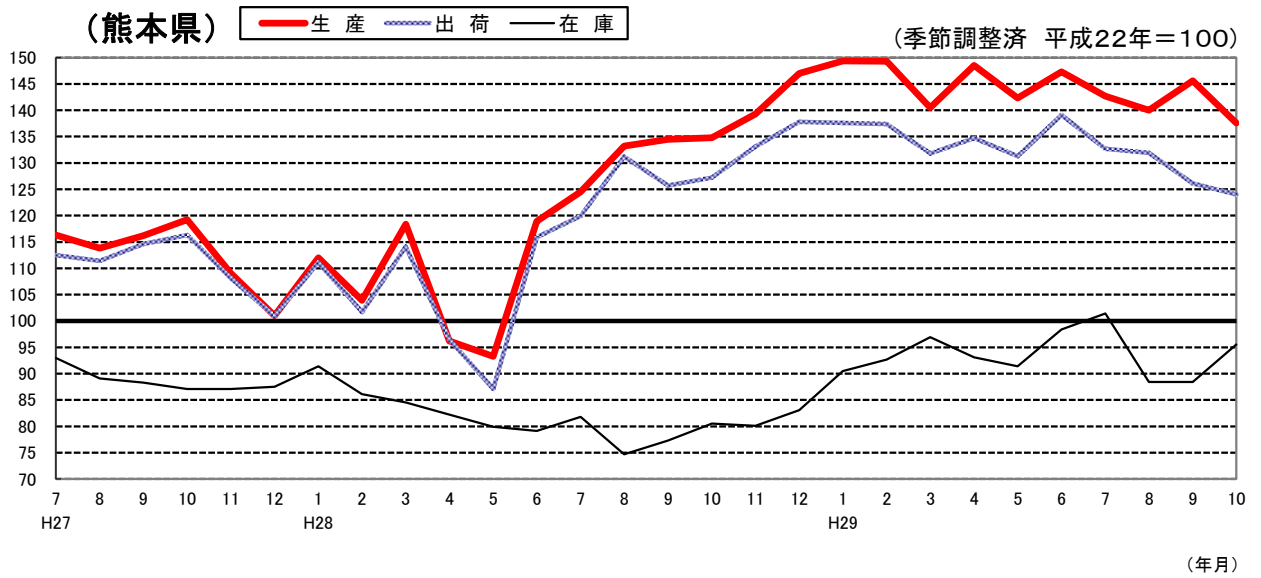
[経済産業省九州経済産業局]「九州地域の鉱工業動向(平成29年10月速報)」より転載

平成29年10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は109.3となり、前月比が▲1.4%と2か月ぶりに低下し、前年同月比は+3.2%と15か月連続の上昇となった。

[経済産業省]「平成29年10月の鉱工業(生産・出荷・在庫)指数の動向(速報)」より転載

今月は、生産、在庫、在庫率は上昇、出荷は低下であった。製造工業生産予測調査によると、11月、12月ともに上昇を予測している。総じてみれば、生産は持ち直しの動きがみられる。

熊本県・九州・全国の鉱工業指数の推移



※ 最終月は速報値です。

1. 概況

－ 生産は2ヶ月ぶりの低下－

平成29年10月の鉱工業指数[速報値]

(平成22年=100)

		季節調整済指数	前月比(%)	原指数	前年同月比(%)
熊本県	生産	137.6	▲ 5.5	150.3	4.5
	出荷	124.0	▲ 1.7	137.3	▲ 0.5
	在庫	95.5	8.0	103.6	18.7
九州	生産	109.3	▲ 1.4	112.4	3.2
	出荷	110.1	▲ 2.7	112.8	▲ 2.0
	在庫	120.6	4.9	123.0	4.0
全国	生産	103.0	0.5	104.7	5.9
	出荷	98.8	▲ 0.5	99.6	2.6
	在庫	110.6	3.1	112.1	1.9

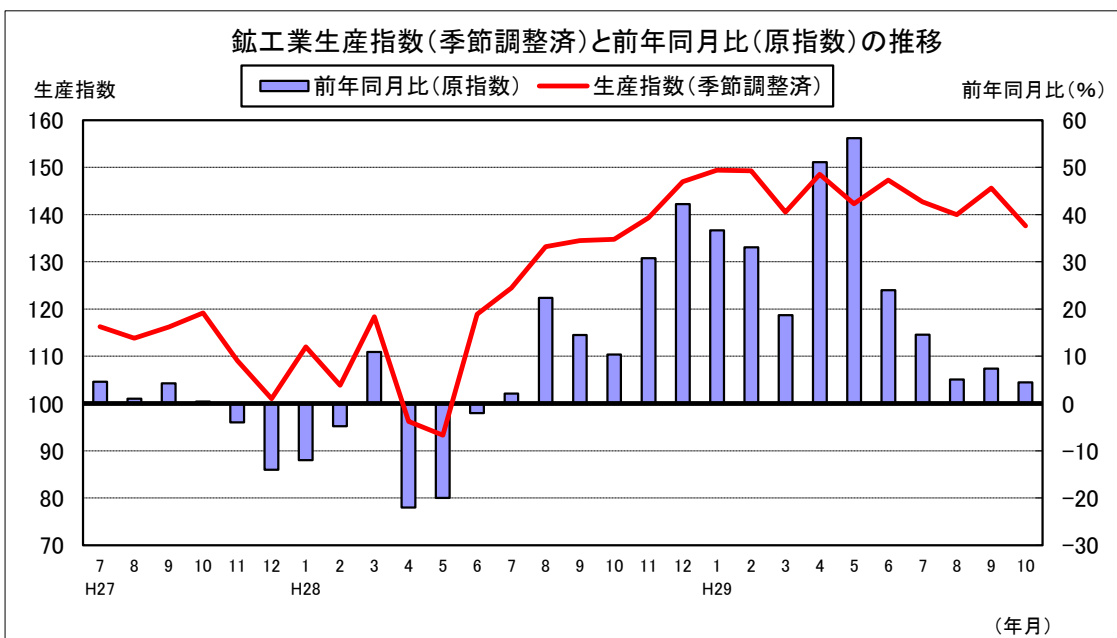
※「前月比」、「前年同月比」は上昇率を百分比(%)で表しています。

※生産・出荷指数の季節調整法はX-12-ARIMA(季節、曜日・祝祭日調整)、在庫指数はX-12-ARIMAの中のX-11デフォルトによります。

【生産】 生産指数は 137.6 で、前月比 ▲5.5%となり、2ヶ月ぶりの低下であった。16業種中、輸送機械工業や化学工業などの7業種が上昇したが、電子部品・デバイス工業やはん用・生産用機械工業などの9業種が低下した。

【出荷】 出荷指数は 124.0 で、前月比 ▲1.7%となり、4ヶ月連続の低下であった。16業種中、輸送機械工業やプラスチック製品工業などの8業種が上昇したが、電子部品・デバイス工業や電気機械工業などの8業種が低下した。

【在庫】 在庫指数は 95.5 で、前月比+8.0%となり、2ヶ月ぶりの上昇であった。15業種中、繊維工業などの3業種が低下したが、金属製品工業や化学工業などの12業種が上昇した。



2. 業種別動向

【生産】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	輸送機械工業	1293.4	16.5	▲ 9.8	※
	化学工業	868.7	5.8	▲ 2.5	※
	プラスチック製品工業	478.8	8.4	▲ 3.7	プラスチックフィルム
低 下	電子部品・デバイス工業	1823.9	▲ 7.0	0.2	集積回路
	はん用・生産用機械工業	1325.0	▲ 13.1	25.9	特殊産業機械
	電気機械工業	804.7	▲ 12.3	7.5	※

【出荷】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	輸送機械工業	1847.4	19.1	▲ 5.8	※
	プラスチック製品工業	425.7	11.9	▲ 1.2	プラスチックフィルム
	食料品・たばこ工業	1667.7	3.2	22.8	※
低 下	電子部品・デバイス工業	1737.9	▲ 2.4	▲ 10.1	集積回路
	電気機械工業	539.6	▲ 7.3	3.8	※
	化学工業	846.8	▲ 2.9	▲ 6.2	医薬品

【在庫】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	金属製品工業	672.4	108.5	30.0	建築用金属製品
	化学工業	1224.1	10.8	64.9	※
	鉄鋼業	291.4	10.9	▲ 6.6	※
低 下	※	※	※	※	※
	繊維工業	567.6	▲ 2.1	▲ 3.8	※
	ゴム製品工業	267.3	▲ 2.0	▲ 22.6	※

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

3. 特殊分類別動向（財別の動き）

財 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
最終需要財	生 産	113.9	▲ 2.1	116.3	10.8
	出 荷	111.0	2.4	114.5	7.0
	在 庫	102.5	16.2	106.9	20.5
生 産 財	生 産	169.3	▲ 4.2	190.3	0.5
	出 荷	141.2	▲ 1.4	162.3	▲ 5.7
	在 庫	88.1	5.0	99.9	16.6

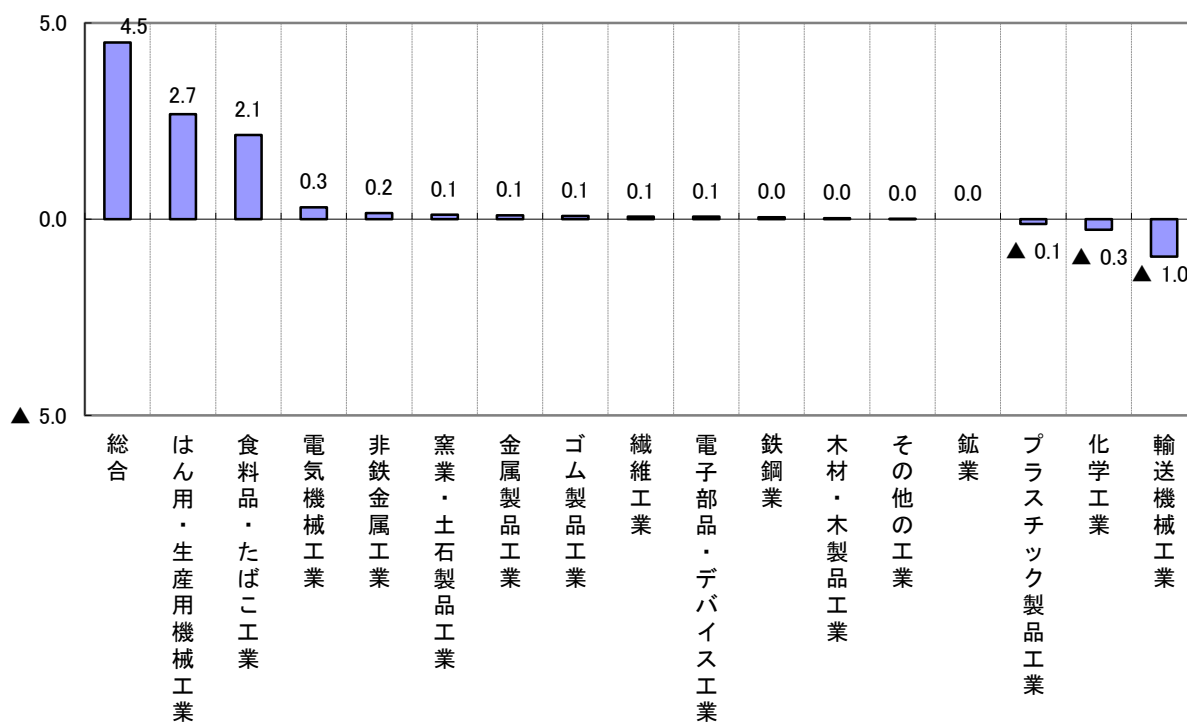
4. 特定品目の動向（集積回路の動き）

類 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
金額指数	生 産	342.7	▲ 7.0	419.6	0.1
	出 荷	274.0	▲ 4.6	341.7	▲ 10.5
	在 庫	0.6	50.0	0.6	▲ 80.0

類 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
数量指数	生 産	602.6	▲ 8.4	757.0	24.3
	出 荷	504.7	▲ 2.8	621.1	13.8
	在 庫	39.9	18.0	34.5	▲ 25.6

※ 総合指数や業種別指数には金額指数を採用しています。

5. 業種別寄与度（原指数・生産前年同月比）



※ 寄与度は、各業種の変化が、総合指数をどれだけ変化させたかを表します。ウェイトが反映されますので、業種によっては上昇幅が大きくても、ウェイトが非常に小さければ全体に対する貢献度は低くなる場合があります。また、ほとんどの業種が低下してもウェイトの大きい業種が上昇すれば、全体ではプラスになることがあります。